

2023年7月例会 八経ヶ岳 (1915.2m) 二等三角点 奈良県天川村

実施日 2023年7月7日(金)~8日(土)

天候 7日 曇り夕方雨 8日 曇り

参加者 CL佐々木 SL 船越 墨江

佐藤 西崎 森田 岡野 永谷 前田 小林 和田 山川 大木 山内 横田 (15名)

行程 7日 岡山駅(6:00) → 行者還トンネル西口登山到着(12:00) → 昼食後行動開始(12:30) → 奥駆道出会(13:30) → 聖宝の宿跡(14:30) → 弥山小屋(16:10)

8日 弥山小屋(6:50) → 八経ヶ岳(7:30) → 弥山小屋ピストン(8:10) → 聖宝の宿跡(9:20) → 奥駆道出会(10:10) → 行者還トンネル西口登山到着(11:30) 昼食 → バス乗車(12:00) → 温泉杉の湯(13:10) 杉の湯出発(13:50) → 岡山駅到着(18:30)

概要

7日 曇り夕方雨

梅雨どきなので雨が心配でしたが回復してきそうなので実行しました。行者還トンネル西口から、昼食をとり天川沿いに歩き始めました。尾根までの剥き出しの木の根や石ころ、ぬかるんだ道に苦労してひたすら登り、奥駆道出会いにつくと、少しゆるくなり道にはバイケイソウが満開でした。

この花は鹿も食べないという有毒な種が多いということで、咲き誇っていた。途中三角点のある弁天の森を過ぎ、しばらく行くと聖宝の宿跡に着き、大きな理源大師聖宝の像がでんと構え、これを見ると心が落ちついたような気がし、もう少し頑張り弥山小屋に着くと同時に雨が降って来ました。

8日 曇り

雨は降ってはないが風が強く廻りは真っ白の中、大峰山系の最高峰八経ヶ岳までは柵もあり、オオヤマレンゲを探しながら歩くが、蕾と咲き終わりや咲き掛けしか見当たらず残念でした。

帰路のコースは、天川川合に下山の予定でしたが、下見した時にとっても長い距離なので、ピストンに変更しました。昨夜の雨で水たまりやぬかるみ、濡れた木道を慎重にゆっくりと下山して行きました。

メンバーは皆元気一杯、汗にまみれた体を日帰り温泉で流し、清々しく帰宅出来ました。(佐々木 記)



弥山にて



オオヤマレンゲ



八経ヶ岳